

早稲田アカデミー	6年		
	算数		
学習内容	5月の学習内容 9回 総合 10回 割合と比の文章題 11回 立体図形 (1) 12回 平面図形 (3) (13回 数と規則性 (2) 14回 総合)		
家庭学習ポイント	9回では6回から8回までの復習です。特に公開組分けテストは直しをしっかりと行うようにしましょう。小問ごとの正答率表を参考に「100-お子さんの偏差値」を計算し(偏差値が55くらいなら100-55=45)、45%以上の正答率の問題を直し対象にする、など工夫して効率よくテスト直しを進めておきましょう。10回は割合と比の文章題です。線分図や表など、どのようなパターンの問題にはどの手法が適切かを考えながら解き進めるようにしましょう。特に売買損益では、原価・定価・利益などの関係性を今一度書くにしておくことが大切です。立体図形ではとにかく正確な作業力が求められます。理解していることを前提に、しっかり作業して正解を出す、という訓練となっているのがポイントです。展開図、回転体、切断など入試でも頻出ですね。		
課題の把握と解決策	チェック1	週テスト、組分けテストの直しは毎回できていますか？	チェック
	解決策	答えを直すだけでなく、再度考えて「解き直す」ことが重要です	□
	チェック2	やり取り算で「フローチャート」を書くときの注意点は？	チェック
	解決策	渡した後の「残り」をしっかりと書き込んでおくことです	□
	チェック3	「売れ残りを考える多数売りの問題」を正しく解くことができますか？	チェック
	解決策	何個、どんな条件で売ったのか整理しておくことが大切です	□
	チェック4	立体の体積、表面積の問題でミスを連発していませんか？	チェック
	解決策	立体を解く上で、まず必須の力になりますね。「1問を解ききるまでの集中」うい意識しましょう	□
	チェック5	ちょうちょ型、ピラミッド型の相似の問題を苦手としていませんか？	チェック
解決策	入試問題では必須の作業ですので、なんとしても12回の内容でマスターしましょう	□	
早稲田アカデミー	6年		
	国語		
学習内容	5月の学習内容 9回 総合 10回 随筆文(3) 記憶と人生 対比の関係① 外来語 11回 物語・小説(4) 家族と友人 対比の関係② 慣用句③ 12回 説明文・論説文(3) 暮らしとテクノロジー 因果関係①-順接・理由説明- 三字の熟語② (13回 説明文・論説文(4) 人間と社会 因果関係②-〈因果関係〉の文脈- 四字の熟語② 14回 総合)		
家庭学習ポイント	9回は総合会で、6回～8回の復習です。合不合判定テストも始まり忙しいですが、組分けテストはしっかり直しをしながら学習を進めていきましょう。10回は随筆文、こちらの読解の技術はこれまでに習ったとおりですが、テーマは「人生」です。文種を問わず、入試レベルのテーマが扱われていることがわかります。知識項目は外来語を扱います。12回は説明文・論説文です。6年生の予習シリーズは文章がテーマ別になっていますが、12回は「暮らしとテクノロジー」についての文章となっています。このあたりは難関校の入試でも頻出テーマですが、子どもたちにとっては実感を伴って理解しづらいテーマなので、しっかりと読み込む経験を積重ねていきたいですね。		
課題の把握と解決策	チェック1	週テスト、組分けテストの直しは毎回できていますか？	チェック
	解決策	答えを直すだけでなく、再度考えて「解き直す」ことが重要です	□
	チェック2	テストの記述問題はかけていますか(白紙のままになっていない)？	チェック
	解決策	まずは「自分の言葉で説明する」練習から。今日あったことを親御さんに対して説明させましょう	□
	チェック3	文章を読み始めて「だいたいこんな話かな？」というイメージができていますか？	チェック
	解決策	非常にたくさんの文章を読む6年生は、上記のことを意識しながら読むことも大切です	□
	チェック4	「随筆文の読解のポイントは」と聞かれたら説明できますか？	チェック
	解決策	「事実と意見読み分ける」といった内容がわかっているといいですね	□
	チェック5	説明文・論説文の結論を読み取ることができますか？	チェック
解決策	文章の冒頭や最後に述べられることが多いこと、また「つまり」といった語句にも注目しましょう	□	

早稲田アカデミー	6年		
	理科		
学習内容	5月の学習内容 9回 総合 10回 動物 11回 地層・火山・地震 12回 運動・てこ (13回 気体・金属 14回 総合)		
家庭学習ポイント	10回は総合回で復習です。1回の授業で扱う範囲が非常に広がっていますから、組分けテストの範囲も膨大です。小問ごとの正答率表を参考に「100-お子さんの偏差値」を計算し（偏差値が55くらいなら100-55=45）、45%以上の正答率の問題を解き直しの対象にする、など工夫して効率よくテスト直しを進めておきましょう。11回は「動物」です。昆虫からプランクトン、人体、食物連鎖まで1週の授業で網羅します。特にヒトの消化吸収、呼吸などの実験問題は入試においても頻出です。しっかり確認しておきたいですね。動物の分類についても、この機会にしっかり整理し直しておきましょう。12回は「地層・火山・地震」で、こちらも学習範囲は広く、流水の3作用から地層のようす、火山の活動と岩石、地震（計算問題を含む）と、すべてといった内容です。13回も同様、運動とてこについてのすべてを復習します。1回の学習範囲が非常に広いので、1週で完全に習得してしまうつもりで取り組むのはもちろんですが、ある程度抜け漏れが出るのを見越し、組分けテストと合不合判定テスト、そしてテスト直しで補足していくようにしましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	総合回での学習で過去の仕上げができていますか？	チェック
	解決策	1週単位の授業とテスト、1ヶ月単位の組分けテストで総復習が完成、というイメージで	□
	チェック2	人の消化、吸収などについて「うろ覚え」の部分はありますか？	チェック
	解決策	消化液については器官ごとに「胃ではタンパク質が分解されペプトンに」と理解しましょう	□
	チェック3	地層の新旧について正しく答えられますか？	チェック
	解決策	他の地層や断層などの影響を受けていないものほど新しい、ということが出来ますね	□
	チェック4	地震の計算問題を正しく解けますか？	チェック
	解決策	P波、S波の速さを正確に計算しますが、計算自体は難解ではありません	□
	チェック5	テスト直しを通して知識の補充ができていますか？	チェック
	解決策	6年生では授業だけでなく、テスト直しから自分の知識の不足を見つけられるかがポイントです	□
早稲田アカデミー	6年		
	社会		
学習内容	5月の学習内容 9回 総合 10回 世界のすがた 11回 国際連合と紛争 12回 現代の日本と世界（1） (13回 現代の日本と世界（2） 14回 総合)		
家庭学習ポイント	9回は総合回。6～8回の復習となります。歴史の復習をテーマ別に行いながら公民分野の学習を進めていくので、1ヶ月スパンの組分けテストでしっかり理解が完成するよう学習サイクルを構築していきましょう。第10回以降、次回の組分けテストまでは、現在の日本と世界の結びつきについて学習していきます。10回は「世界のすがた」11回は「国際連合と紛争」、12回～は「現代の日本と世界」です。メルカトル図法と正距方位図法についてはその特性と「何に使用されるか」をセットで記憶しておくことが大切です。貿易についてはWTO（世界貿易機関）、FTA（自由貿易協定）、EPA（経済連携協定）、TPP（環太平洋経済連携協定）といった用語についても今一度説明できるようにしておきましょう。日本の貿易（輸入・輸出品目）の変化を環境の変化とともに理解しておくことも大切です。また冷戦～ベトナム戦争～南北ベトナム統一～ソ連のアフガニスタン侵攻～イラン・イラク戦争～東西ドイツ統一～湾岸戦争という、対立・紛争とその結末の歴史もしっかり押さえておきましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	5月の組分けテストの直しはできましたか？	チェック
	解決策	それまで1ヶ月の学習内容を組分けテストの直しで完結させるイメージで進めましょう	□
	チェック2	メルカトル図法と正距方位図法の特性を説明できますか？	チェック
	解決策	メルカトル図法で示された地点を正距方位図法でみて、中心からの距離や方位を答える練習を	□
	チェック3	日本の貿易相手国、ベスト2を答えられますか？	チェック
	解決策	輸出、輸入とも、1位は中国、2位がアメリカですね	□
	チェック4	WTO・FTA・EPA・TPPといった言葉を説明できますか？	チェック
	解決策	ニュースなどでもよく耳にしますね。家族で話し合ってみてもいいでしょう	□
	チェック5	1回1回の授業で、ある程度の知識のまとめができていますか？	チェック
	解決策	抜け漏れは組分けテストの直しで完成させるというイメージでいいですね	□